

日本SPICEネットワーク 第14回総会

2024年 4月 19日

日本SPICEネットワーク運営委員会

<注意事項>

音声ミュート、ビデオオフに設定してください。

氏名は、日本語フルネームでの設定をお願いします。

撮影・録音は禁止です。（画面のキャプチャを含む。）

- 第14回 総会議長の選出
- 第14期 活動報告
- 第14期 決算報告 [議決]
- 会則改定 [議決]
- 運用規則改定
- 第15期 運営委員会 [議決]
- 法人化に向けた検討 [議決]
- 第15期 活動方針 & 計画
- 第15期 予算案 [議決]



● 選出方法

- 会則の第17条に基づき、運営委員の中より議長を選出し、総会の承認を受ける。
 - 第17条（総会の議長）
総会の議長は、その都度、運営委員の中から選出し、総会の承認を受けるものとする。

● 議長

河野 文昭

スズキ株式会社

● 運営委員会 (8名)

(役職順、氏名五十音順、敬称略)

- 河野 文昭〔代表〕 スズキ株式会社
- 萩原 一彦〔副代表〕 株式会社 デンソー
- 田淵 一成〔事務局〕 アセッサー・アカデミー株式会社
- 安倍 秀二 株式会社エーアンドエス・コンサルティング
- 近藤 聖久 DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社
- 齋藤 幸裕 ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社
- 古田 健裕 SGS ジャパン株式会社
- 室谷 隆 S3 プロセスラボ

● 2023/04/21 第81回 運営委員会 [ZOOM]

■ Topics : 新年度勉強会

第14期は11回実施

● 2023/06/13 第82回 運営委員会 [ZOOM]

■ Topics : NSPICE Conference、第44回勉強会、NSPICE Camp

● 2023/08/24 第83回 運営委員会 [ZOOM]

■ Topics : NSPICE Conference

● 2023/09/10 第84回運営委員会 [ZOOM]

■ Topics : NSPICE Conference

● 2023/10/18 第85回 運営委員会 [ZOOM]

■ Topics : NSPICE Conference、第46回勉強会、Asian SPICE Conference、インボイス制度

● 2023/10/24 第86回 運営委員会 [ZOOM]

■ Topics : NSPICE Conference

- 2023/11/07 第87回運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : 第45回勉強会、NSPICE Conference、インフラ
- 2023/12/03 第88回 運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : 第45回&46回勉強会、Asian SPICE Conference
- 2024/01/15 第89回 運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : 第46回勉強会、Asian SPICE Conference、法人化、来期計画
- 2024/03/17 第90回 運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : Asian SPICE Conference、法人化、来期計画
- 2024/04/15 第91回運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : 法人化、総会

目的：会員自らが学ぶ“場”を創出&提供し、共に学ぶを実践する

日本SPICEネットワークの学びの場の提供

勉強会（年四回、会員限定）

全員参加の交流の場であり、エントリーレベルおよびミドルレベルを対象とした経験ベースによるグループ議論
中心の学び

実施

NSPICEカンファレンス（一般向け）

各界の有識者による基調講演および一般講演による学び

実施

CAMP（年一回、会員限定）

テーマを設定し、2日間の集中議論によるテーマを絞った深い学び

実施

研究会（通年、会員限定）

会員自らテーマを掲げ、メンバー間の深い議論を中心にした自発的な学び

実施

勉強会に延べ254名の参加がありました。

- 2023年 6月 2日 第43回 勉強会 参加者数：41名〔（株）デンソー 名古屋オフィス〕

■ ワークショップ

- テーマ：構成管理計画書について考える
 - グループディスカッション
 - グループ議論結果発表



● 2023年 7月 28日 第44回 勉強会 参加者数：45名〔日本電気（株）玉川事業所〕

■ ワークショップ

➤ テーマ：構成評価について考える

- グループディスカッション
- グループ議論結果発表



- 2023年 10月 5、6日 参加者数：12名〔浜松市：アクトシティ浜松 研修交流センター〕

■ ワークショップ

- Automotive SPICEプロセスアセスメント実践コース
 - グループディスカッション
 - グループ議論結果発表



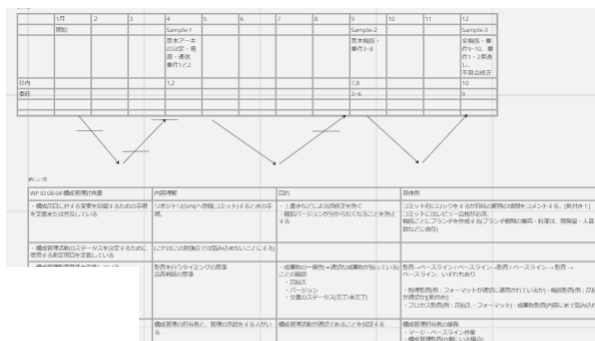
- 2023年 10月 25日 参加者数：74名〔ウインクあいち／オンライン ハイブリット開催〕
- テーマ：SPICEで開発の基盤を確立し、継続的に改善しよう！
 - ～ 新たな技術がもたらすSPICEの変革 ～
- 基調講演
 - Automotive SPICE 4.0
 - Intacs / Bernhard Sechser 氏
- 特別講演
 - ソフトウェア開発の現状とAIを活用した効率化
 - 日本マイクロソフト株式会社 / 野寄 弘倫 氏
 - AD/ADAS外界認識におけるAI開発プロセスの一例
 - 本田技研工業株式会社 / 藤原 幸広 氏
- 一般発表
 - 4件
 - アワード表彰：池永 直樹 氏 (株式会社デンソークリエイト)



2023年 12月 15日 第45回 勉強会 参加者数：40名 [オンライン開催]

■ ワークショップ

- テーマ：具体的な構成管理計画書を策定する
 - グループディスカッション
 - グループ議論結果発表



■ 研究会報告

➤ 改善研究会

名前	役職	気づき	他グループに質問したいこと
石田尚也	リーダー	新しく作る必要なベースラインがどのくらいあるのか、現実は違うのに、公式なベースラインと非公式なベースラインがあるということ。	毎週1回構成管理状態をどのようにプロジェクトマネージャに報告するのか？ 構成品目1つ1つの状態を報告するのか？ リリースにできたしなないの？
若島雄	発表者	朝のために必要かを考えるように感じた。議論することで、どの程度にするかは重要と格した。	ベースラインには契約ベースライン、開発者のベースライン、プログラムのベースラインの3つの組み合わせで管理するの？
石田雄希	タイムキーパー	目的明確の観点（誰からの視点）で考えることが必要なのかがあつた。	テスト時に毎週作っているバージョンは、ベースラインと違っていませんか？
藤澤智弘	書記	製品やプロジェクトの特性に合わせてベースライン計画を1案していることがわかった。	各プロセス毎にベースライン化しない理由を明確にしたチームがあれば教えてください。

New table

ベースライン名	目的用途	確立タイミング	要求
要件ベースライン 1	・自社開発チームの実装のための要件 ・委託先開発チームの実装のための要件	要件確定時 (自社で要件を開発)	要件1
リリースベースライン 1	・システムテストチームへのリリース (テストフェーズ1用)	Sample-1リリース時	要件1.2 基本アーキテクチャ (新規) 要件1.2の実装
リリースベースライン 1' (テスト環境)	・自社開発チームのテストのための環境 ・委託先開発チームのテストのための環境	不具合修正の完了時	要件1.2の実装 (テストフェーズ1の不具合修正)
要件ベースライン 3	・自社開発チームの実装のための要件 ・委託先開発チームの実装のための要件	Sample-2の実装のための要件確定時	要件1.2 (見直し) 要件3~8 要件3.10 (追加) 基本アーキテクチャ

エントリレベル向け

シナリオに基づき、構成管理計画の一部である作業成果物ベースライン計画を策定し、ベースラインに対して何を検討し、何を決める必要があるかを理解する

ミドルレベル及びハイレベル向け

グループのメンバと協調しながら適時シナリオに必要な条件を追加して定義し、構成管理計画を策定する。
プロジェクト特性により構成管理の何が異なるのかを明確にし、組織での標準化に役立てる。

● 2024年 1月 26日 第46回 勉強会 参加者数：36名〔広島市東区民文化センター〕

■ ワークショップ

- テーマ：発注者／供給者の立場でプロセスを理解しよう！
 - グループディスカッション
 - グループ議論結果発表

■ 講演

- 「プロセスモデルに依存しないプロセス構築の勘所」
山内 誠 氏（ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社）

■ 研究会報告

- アセスメント実践研究会



● 4つの研究会が活動

研究会名称	代表者	主な活動拠点	継/新
アセスメント実践研究会	新海 良一 氏	関東、中部、関西	継続
改善研究会	倉田 智穂 氏	名古屋市、刈谷市	継続
東京アセスメント研究会	由井 美恵子 氏	関東	継続
製品やサービスの利害関係者価値を高めるLEfAS研究会	河野 文昭 氏	関東、中部、中四国	継続

基本的にはテレコンで実施

- テレコンによる研究会実施が定着した。
- 一部の研究会で対面による活動が実施された。
- 今後の研究会実施には、テレコン/対面のハイブリッドも有効であると思われる。

2023/5 東京アセスメント研究会
がグループ勉強会に移行

● 14期の研究会活動を表彰します。

- 表彰の対象は、研究会の活動と成果物です。下記の内容を基に評価しました。
 - 研究会活動計画書、研究会活動報告及びそれらの達成状況
 - 作業成果物

- 表彰内容
 - 優秀活動賞：アセスメント実践研究会
 - ⇒ Automotive SPICE V4.0の追加プロセスの解釈、理解を深め、メンバーのスキルアップに繋がった。
 - 優秀成果物賞：製品やサービスの価値を高めるLEfAS 研究会
 - ⇒ 研究会の成果を書籍として出版した。（2024/5 刊行）
「Lean Enablers for Automotive SPICE®
－ 真の価値を生み出すプロセス実践ガイドー」

議決事項：第14期 決算報告

- 活動報告及び決算について、承認をお願いします。
- 収入の部

項目	金額	備考
第13期からの繰り越し	¥904,961	
年会費	¥320,000	160名
預金利息	¥10	
第5回カンファレンスの残金繰り入れ	¥ 56,075	
その他収入	¥1,000	勉強会参加費（会場提供社 社員）
合計	¥1,282,046	

- 支出の部

項目	金額	備考
インフラ維持費	¥226,852	Webサイト、Redmine、VPSサーバ、ZOOM、miro、等
インフラ構築費	¥57,985	Redmine移管、VPSサーバ構築
勉強会会場費	¥90,860	
研究会経費	¥11,542	
消耗品、その他	¥64,143	通信・印刷費、勉強会消耗品、支払手数料
第14期への繰り越し	¥830,664	
合計	¥1,282,046	

上記に相違がないことを確認しました。 2024.4.17 会計監査 萩原 一彦

- 会則の改定について、承認をお願いします。

- (1) 第6条 定例会をワークショップに変更

- 「勉強会」として実施していた活動は、「ワークショップ」に名称を変更し、位置づけを変更します。

- (2) 第12条 年会費を税込から不課税に変更

- 消費税の課税対象は、事業として対価を得て行う取引であり、年会費はこれにあたらなため変更します。カンファレンス参加費は消費税の課税対象となります。

● 運営規則の改定についてお知らせします。

■ 研究会運用規則

- さまざまな会員ニーズに合った深い議論を行っていくため、法人化にむけた改革に着手します。2024年度は研究会を実施しないものとします。
- 勉強会・研究会の運営は以下の通りとなります。

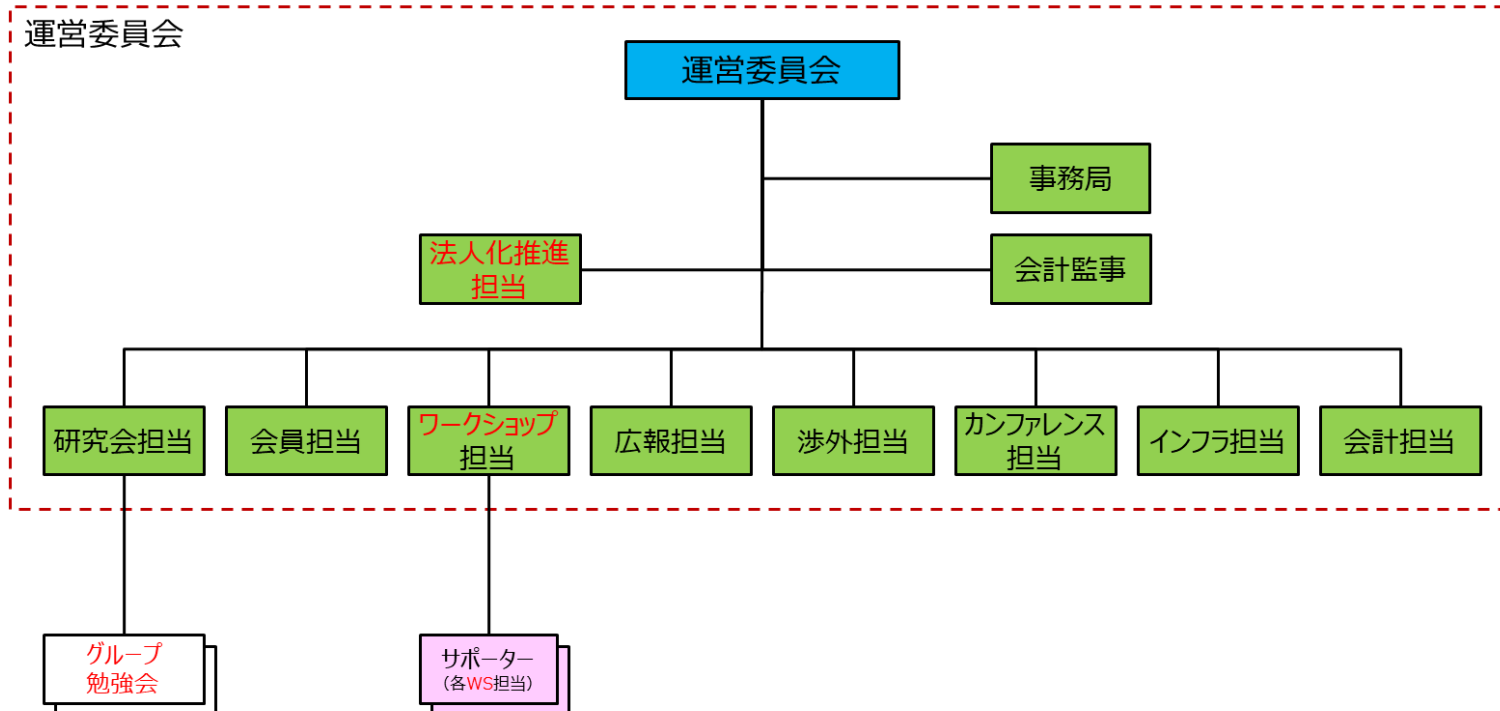
2023年度	2024年度
勉強会 （年4回） 全員参加の交流の場であり、エントリーレベルおよびミドルレベルを対象とした経験ベースによるグループ議論中心の学び	ワークショップ °（年4回） 全員参加の交流の場であり、経験ベースによるグループ議論中心の学び
カンファレンス 各界の有識者による基調講演および一般講演による学び	カンファレンス 各界の有識者による基調講演および一般講演による学び 2024年度はAsia Conferenceとして実施予定
研究会 （通年、継続可能） 会員自らテーマを掲げ、メンバー間の深い議論を中心にした自発的な学び	2024年度は実施しない ※ 法人設立後にワーキンググループとして発足予定
グループ勉強会 （通年、継続可能） 仲間とともに、気軽に開始できる学び	グループ勉強会 （通年、継続可能） 仲間とともに、気軽に開始できる学び

● 運営規則の改定についてお知らせします。

■ 委員会運用規則

- 会則の改定及び法人化検討開始に伴い変更します。

組織図



● 2名が退任します。

(氏名五十音順、敬称略)

- 安倍 秀二 株式会社 エーアンドエス・コンサルティング
- 齋藤 幸裕 ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社

● 運営委員6名の承認をお願いします。

(氏名五十音順、敬称略)

- 河野 文昭 スズキ株式会社
- 近藤 聖久 DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社
- 田淵 一成 アセッサー・アカデミー株式会社
- 萩原 一彦 株式会社 デンソー
- 古田 健裕 SGS ジャパン株式会社
- 室谷 隆 S3 プロセスラボ

- 代表

河野 文昭 スズキ株式会社

- 副代表

萩原 一彦 株式会社 デンソー

- 事務局

田淵 一成 アセッサー・アカデミー株式会社

- 委員

近藤 聖久 DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

古田 健裕 SGS ジャパン株式会社

室谷 隆 S3 プロセスラボ

(役職順、氏名五十音順、敬称略)

氏名	役職	担当
河野 文昭	代表	渉外担当 アジアカンファレンス担当 ワークショップ担当（中四国） 法人化推進担当（理事候補）
萩原 一彦	副代表 会計監事	会計監事 ワークショップ担当（中部） 法人化推進担当（理事候補）
田淵 一成	事務局	渉外担当 会計担当 インフラ担当 広報担当 法人化推進担当（理事候補）
近藤 聖久	—	ワークショップ担当（関西）
古田 健裕	—	会員担当
室谷 隆	—	グループ勉強会担当 ワークショップ担当（関東） 法人化推進担当（監事候補）

● 現状の課題

- 我が国のSPICE 活用能力向上をコミュニティが下支えする必要がある
- 現状の枠組みでのサービスの限界
 - エントリークラス、ミドルクラス、ハイクラスに応じたサービス提供が不十分
 - 特にハイクラスを希望される会員の離脱増加
- インフラ維持費用の増大
- ボランティア運営の限界
- インボイス制度に対応した領収書が扱えない

● 法人化による狙い

- サービス価値の向上
- 次世代への体制構築
- 企業、団体への信頼性向上
 - インボイス対応
- 財政基盤の確立

- ワークショップ（旧 定例勉強会）に加え、会員が継続的にスキルアップに活用できる場を提供する
 - 外部の専門家を招聘し、質の高いトレーニングを提供
 - 継続参加いただく会員には、受動的な受講者ではなく、能動的な指導者への変化を期待

- ワーキンググループを通じて次世代人材を発掘
 - 既存の運営委員会を理事会と諮問委員会に分離
 - 理事会（理事）が法人経営、諮問委員会（諮問委員）が活動推進
 - 理事は諮問委員を兼任
 - 各諮問委員がワーキンググループを設置し活動を推進
 - ワーキンググループは、会員からメンバーを募集
 - ワーキンググループは、ワークショップなどの企画と運営を担当
 - ワーキンググループの活動を推進するメンバーを諮問委員に推挙

- 会員所属企業や他のコミュニティへの対外的な組織信頼度の向上
- インボイス業者登録
 - インボイスに対応した領収書の発行が可能
 - 個人会員だけでなく、将来的には企業会員制度の導入が可能

- 行政等の補助金活用
 - IT導入補助金
 - 事業再構築補助金

- 民間の無償／優遇サービスの活用
 - 例：セールスフォース社からのツール提供

● 収入の部

項目	支払元	金額	備考
寄付	旧NSPICE	¥800,000	
助成金	行政	¥1,000,000	
基金	任意	¥300,000	
合計		¥2,100,000	

● 支出の部

項目	支払先	金額	備考
法人設立費用	公証役場、法務局等	¥232,000	次ページに詳細
貸オフィス、インフラ、ツール	未定	¥200,000	
事務委託費	↑	¥750,000	
税理士顧問料	↑	¥400,000	
会場使用料	↑	¥300,000	
消耗品	↑	¥18,000	
監事報酬	↑	¥200,000	
合計		¥2,100,000	

項目	支払先	金額	備考
定款認証料	公証役場	¥50,000	
紙謄本発行手数料	公証役場	¥2,000	
登録免許税	法務局	¥60,000	
委託料	設立支援会社	¥110,000	
交通費、郵便代等	手続担当者	¥10,000	
合計		¥232,000	

- 賛否を確認します

- 日本SPICEネットワークの一般社団法人化の検討開始



● 臨時総会開催

- 日時：2024/08/02 14：00 - 16：00（予定）
- 形態：オンライン
- 目的：法人化移行の可否判断
- 内容：「一般社団法人 日本SPICEネットワーク」の説明
 - 一般社団法人の定款（組織体制、所在地などを含む）
 - 会費、参加費
 - 運営費（概算）
 - ワーキンググループ活動（現在の研究会の代替案）
 - グループ勉強会活動
 - 運営構想

● 会員のSPICE活用能力アップ

■ ワークショップ

- ミドルレベル以上に向けた“現場への**プロセス展開力**向上”
- 年4回開催

■ CAMP

- “現場で実践できるプロセス実装能力向上”に関するテーマを設定し、“短期集中で**プロセス実践力**を向上”

■ グループ勉強会

- 深い議論および、成果の会員共有による“**プロセス応用力**向上”

■ カンファレンス

- 効果的、効率的なプロセス活用についての事例共有による“**プロセス活用力**向上”

■ 検討中（当面はグループ勉強会にて充当）

- エントリーレベルに向けた“主要プロセス領域の**プロセス活用力**向上”

● イベント

基本的に面直開催に戻しています。

日程および場所については予定であり、変更する可能性があります。

- 第47回ワークショップ 2024年 5月 31日
 - 〔中部：ウインクあいち〕
- 第48回ワークショップ 2024年 7月 30日
 - 〔関東：日本橋 小伝馬町駅前 共同ビル会議室2〕
- NSPICE Camp 2024 2024年 10月 ?日
 - 〔未定〕
- Asian SPICE Conference 2024 2024年 11月 21、22日
 - 〔名古屋市：ウインクあいち 小ホール等／オンライン併設〕
- 第49回ワークショップ 2024年 ?月 ?日
 - 〔関西：未定〕
- 第50回ワークショップ 2025年 ?月 ?日
 - 〔中四国：マツダ 本社教育センター〕

※各イベントはワークショップ担当運営委員及び運営委員から依頼したサポーターの支援により運営

- 研究会は14期で終了し、当面はグループ勉強会として活動継続の場を提供します。

● 学びの場として、グループ勉強会を継続します。

ルール

- 開始時にグループの名称、メンバーをメールで連絡
- 終了時は、活動実績（活動サマリや回数など）をメールで連絡
- 年度を跨いで活動を継続する場合は、活動実績をメールで連絡
- 活動のプラットフォームとして、Redmine、Zoomの使用が可能

2024年度 活動予定グループ

- 改善研究会（倉田 智穂氏）
- アセスメント実践研究会（新海 良一氏）
- 製品やサービスの利害関係者価値を高めるLEfAS研究会（河野 文昭氏）
- 東京アセスメント研究会（庭木 大輔氏）
- Automotive SPICEの基本を学ぶ勉強会（古田 健裕氏）
- アセッサーが生成AIの活用を考える研究会（中武 俊典氏）
- モデル・規格の本質を理解する勉強会（近藤 聖久氏）

- 以下のグループ勉強会の参加者を募集します。
 - 活動内容・参加条件：活動計画書を参照
 - 申込方法：Webサイトの「お問い合わせ」から入力
 - 募集期間：2024/5/19(金)まで

グループ勉強会名称	代表者	主な活動拠点	継/新
改善研究会	倉田 智穂 氏	名古屋	継続
東京アセスメント研究会	庭木 大輔 氏	東京	継続
Automotive SPICEの基本を学ぶ勉強会	古田 健裕 氏	横浜	新規
アセッサーが生成AIの活用を考える研究会	中武 俊典 氏	東京	新規
モデル・規格の本質を理解する勉強会	近藤 聖久 氏	神戸	新規

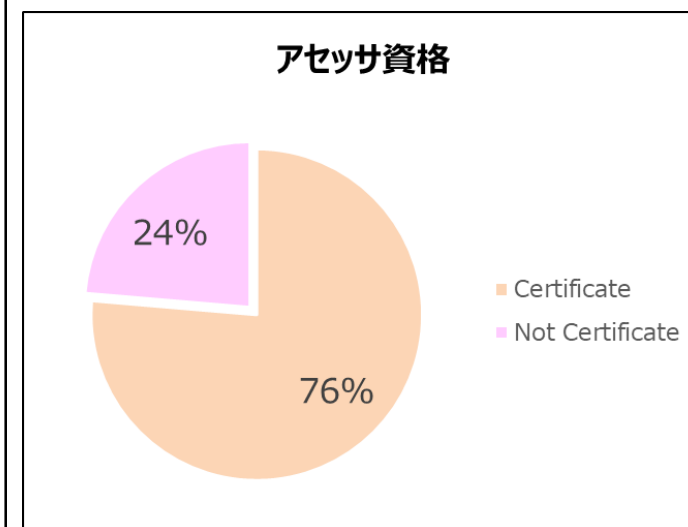
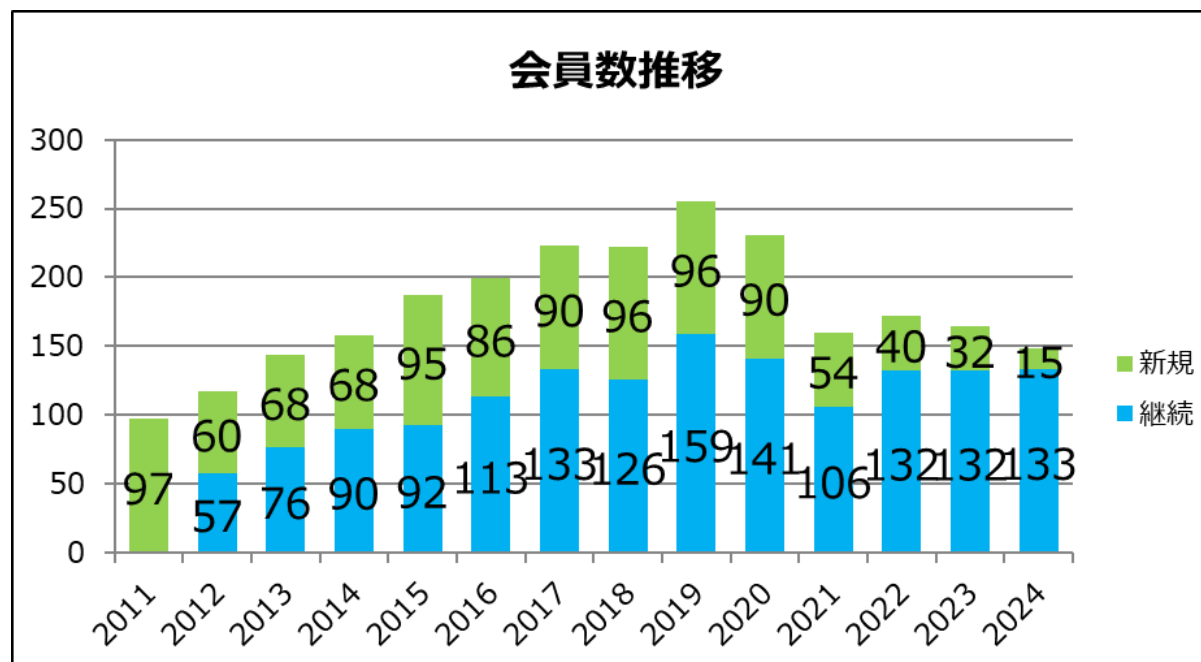
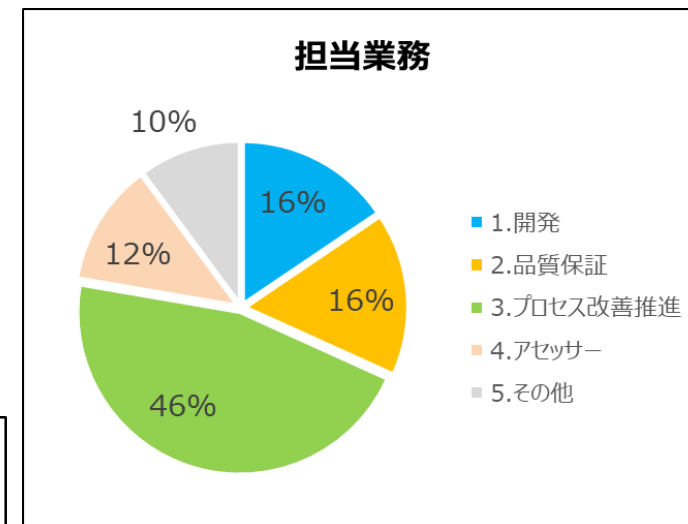
- 詳細は、別途会員宛のメールにてお知らせします。

● 第15期 会員数 (2024年度)

- 148名 (2024年4月4日現在)
 - [内訳：継続133名]

● 第14期 会員数 (2023年度)

- 164名 (2024年3月31日)



● 収入の部

項目	金額	備考
第14期からの繰り入れ	¥830,664	
年会費	¥320,000	前年度実績に基づく
合計	¥1,150,664	

● 支出の部

項目	金額	備考
インフラ固定費	¥150,000	Webサイト、Redmine、VPSサーバ、ZOOM、miro、等
インフラ構築費	¥10,000	
ワークショップ会場費	¥200,000	
研究会経費	¥50,000	会場費、消耗品
消耗品・その他	¥40,000	通信・印刷費、ワークショップ消耗品、運営委員会 会場費、 支払手数料
法人設立費用	¥232,000	
余剰金	¥537,659	
合計	¥1,150,664	

Please feel free to join us!!
Nippon SPICE Network (NSPICE.NET)



Web:

<http://www.nspice.net/>

<http://www.facebook.com/groups/nspice/>

Email:

info@nspice.net